

テーマ：主に喜ばれる歩みを続けていくのに欠かせない要素とは何か？

○主に喜ばれる歩みのために：欠かせない六つの要素

1. 神のみこころに関する知識に満たされること(9b)

2. _____歩みをしていくこと(10a)

▷「歩みをして」(原文：「歩みをするために」「歩みをしていくために」[目的])

※エペソ 4:1

「さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。」

※1 テサロニケ 2:12

「ご自身の御国と栄光とに召してくださる神にふさわしく歩むように勧めをし、慰めを与え、おごそかに命じました。」

※ピリピ 1:27

「ただ一つ。キリストの福音にふさわしく生活しなさい。…」

※3 ヨハネ 1, 5-6

「長老から、愛するガイオへ。私はあなたをほんとうに愛しています。…愛する者よ。あなたが、旅をしているあの兄弟たちのために行っているいろいろなことは、真実な行いです。彼らは教会の集まりであなたの愛についてあかししました。あなたが神にふさわしいしかたで彼らを次の旅に送り出してくれるなら、それはりっぱなことです。」

●主になった歩みとは一体何か？

▷「歩みをして」

※ローマ 13:13

「遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、ねたみの生活ではなく、昼間らしい、正しい生き方をしようではありませんか。」

※2 テサロニケ 3:6

「兄弟たちよ。主イエス・キリストの御名によって命じます。締まりのない歩み方をして私たちから受けた言い伝えに従わないでいる、すべての兄弟たちから離れていなさい。」

▷「主にかなった」

※ローマ 8:18

「今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。」

※1 ヨハネ 3:2-3

「愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現れたなら、私たちはキリストに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。キリストに対するこの望みをいだく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を清くします。」

a) キリストに見られる“謙遜”

※ピリピ 2:3-8

「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。」

※マタイ 27:46

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」

b) キリストに見られる“犠牲的な愛”

※エペソ 5:2

「また、愛のうちに歩みなさい。キリストもあなたがたを愛して、私たちのために、ご自身を神へのささげ物、また供え物とし、香ばしいかおりをおささげになりました。」

※1 ヨハネ 3:16

「キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。」